



10月27日開催

2021年3月ダイヤ改正検証についての申し入れ

【その1】

東地申第13号

【丸の内車掌区】団体交渉を行う！

1. 輸送安全確保の観点から、京葉線泊り行路の睡眠を目的とした乗務の中断は着発6時間以上とすること。
また、丸の内車掌区泊を東京電車区泊とすること。

回答:乗務割交番作成規定に基づき行路を作成している。なお、現時点で東京電車区の寢室を使用する考えはない。

【輸送サービス労組】

- ◆ 前回の議論から変更や検討したものはあるか。
- ◆ 徒歩時間を考慮して、睡眠時間を増やしてほしい。
- ◆ 他区との持ち替え案はないのか。

【JR東日本】

- ◆ 移転の過渡期のため、調整が困難である。今後、寢室の数次第で可能な範囲で調整していく。
- ◆ 列車ダイヤが変わらない限り難しい。終電繰り上げで若干、睡眠時間は増えている。
- ◆ 引き続き、見させてほしい。勉強していく。

2. 平日4行路の夕方における食事を目的とした乗務の中断を拡大すること。

回答:乗務割交番作成規定に基づき行路を作成している。

- ◆ 蘇我で遅い列車へ持ち替えをして、食事時間を拡大するか、東京まで同電にして、東京で食事時間の拡大はできないか。

- ◆ 規定上問題ない。当初の案では、51分の食事時間を取っていたが、現場で組み換えて現行になっている。現場と調整して行なっていく。

3. 休日6行路1835Y~2035Aまで継続乗務(蘇我駅11分・東京駅6分)のため生理現象など考慮した乗務列車の見直しを行うこと。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

- ◆ 2時間40分の連続乗務となる。列車遅延があると、折り返しも時間がない。2035Aを遅い列車に変えてほしい。

- ◆ 差し替えることは可能。現場と確認して作成していく。

4. 平日・休日ともに34行路の労働時間 A が9時間を超え、他の行路との差が大きいことから労働時間の平準化を図ること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

- ◆ 労働時間が長いという声が出ている。検討等しているのか。
- ◆ 前回の議論からやってきたことはあるのか。

- ◆ 差し替えは困難。さいたま車掌区との調整は、今後の課題として行なっていく。
- ◆ 持ち替えの検討はしてきた。現状は難しい。様々な視点で引き続き検討していく。



10月27日開催

2021年3月ダイヤ改正検証についての申し入れ

【その2】

東地申第13号

【丸の内車掌区】団体交渉を行う！

5. 在宅休養時間確保の観点から、昼間帯に乗務する日勤行路を増とし、自宅から出退勤できるように行路設定を行うこと。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

【輸送サービス労組】

- ◆ 日中帯の日勤行路が一つのため、片割れで入る行路が遅い日勤か早い日勤が多い。前泊しない時間帯の行路設定を求める。

【JR東日本】

- ◆ 日勤が増えると間延びするため、一長一短である。現場からも日勤がほしいこと、勤務作成上で苦労している話は聞いている。検討していく。

6. 新人車掌の養成、安全安定輸送確保の観点から、行路数を増とすること。また、現在丸の内車掌区が宿泊していない箇所に宿泊する行路を設定すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

- ◆ 武蔵野線の宿泊地で泊まっていない箇所について、会社はどのように考えているのか。
- ◆ 線見だけで良いのか。一つでも泊まれるところを増やした方が良いのではないのか。

- ◆ 着任時に宿泊所は見に行っているため、対応可能であると考えている。
- ◆ 増やす考えはない。タブレットでも確認できる。不安があれば、現場で聞いてほしい。行路の乗り方が変われば、行先地の時間の確保が難しい。慎重にならなければならない。

7. 新型コロナウイルス感染症を考慮し以下の行路の便乗列車および区間を見直すこと。

- ① 休日6行路明け便1002Y、平日37行路明け便879E、休日38行路明け便670Eは便乗者が複数にならないように設定すること。
- ② 平平37行路明けの便乗については、府中本町から東所沢までは回送列車に便乗とすること。
- ③ 休休38行路は宿泊地を蘇我運輸区京葉派出泊から本区泊へ変更すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

- ◆ 現行の行路では、コロナ対策も考えて作られているのか。
- ◆ 平日も本区泊まりとなれば可能なのか。

- ◆ 列車本数が少なく、便乗列車が固まってしまうことがある。便乗列車を全て把握していない。調整していくが、複数便乗が解消できる約束はできない。客室便乗はダメではない。
- ◆ 38行路を本区泊まりとすることは可能であるが、安定性を考慮すると輸送障害で止まった場合、車掌を送り込むことができない。効率的な運用を勘案して行路作成していく。

安全で安心して乗務することができるより良い環境を職場からつくり出そう！